



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社グローバルグループ
コード番号 6189 URL <http://www.globalg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 中正 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務IR部長 (氏名) 生川 雅也

TEL 03-3239-7088

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	4,557	—	205	—	165	—	144	—
27年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 144百万円 (—%) 27年9月期第2四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	20.77	17.60
27年9月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は、平成27年10月1日に共同株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

2. 当社は、平成27年12月18日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第2四半期	13,617	4,029	29.5	493.26
27年9月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 4,029百万円 27年9月期 100百万円

(注) 当社は、平成27年10月1日に共同株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 当社は、平成27年10月1日に共同株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,325	—	295	—	1,739	—	1,368	—	181.31

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 当社は、平成27年12月18日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、平成28年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

3. 当社は、平成27年10月1日に共同株式移転により設立されたため、対前期増減率はあります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期2Q	8,168,560 株	27年9月期	— 株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	20 株	27年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期2Q	6,932,592 株	27年9月期2Q	— 株

(注) 1. 当社は、平成27年10月1日に共同株式移転により設立されたため、前期の株式数はありません。

2. 当社は、平成27年12月18日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来的予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、年明けから進んだ株安や商品市況の低迷などを受け、企業の景況感、消費者マインドがともに悪化しました。

このような不安定な経済環境ではありますが、保育所の増設に力を入れる自治体が以前にもまして増え、また平成28年度国家予算も「一億総活躍社会」を目玉政策に掲げ子育て支援のための施策が盛り込まれており、社会全体で待機児童を解消しようという気運が高まっております。

このような状況の中、当社は引き続き東京都、神奈川県、千葉県及び大阪府において、保育所及び学童クラブの開設準備を進めておりますが、平成28年3月末時点では認可保育所(東京都)28施設、認可保育所(神奈川県)16施設、認可保育所(千葉県)2施設、認可保育所(大阪府)1施設、東京都認証保育所22施設、横浜保育室1施設、認定こども園1施設、小規模保育施設3施設、学童クラブ・児童館10施設、の計84施設を営んでいます。

なお、当第2四半期累計期間において、新たに14施設の開設準備が整い平成28年4月1日に保育施設13施設、学童クラブ1施設を新規開設しております。

(保育所)

東京都

グローバルキッズ飯田橋こども園
グローバルキッズ江東亀戸サテライト堅川園
グローバルキッズ大森西園
グローバルキッズ西池袋園
グローバルキッズ東長崎園
グローバルキッズ王子園
グローバルキッズ奥戸園
グローバルキッズ南葛西園
グローバルキッズ武蔵小金井園
グローバルキッズ神田駅前保育園

神奈川県

グローバルキッズ大口園

千葉県

グローバルキッズコトニア西船橋園

大阪府

グローバルキッズ東淡路園

(学童クラブ)

東京都

常盤台小学校あいキッズ

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,557,372千円、営業利益は205,132千円、経常利益は165,662千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は144,012千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は13,617,749千円となりました。

主要な内容は、現金及び預金3,550,281千円、有形固定資産6,827,046千円、敷金及び保証金1,035,855千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は9,588,508千円となりました。

主要な内容は、短期借入金3,310,538千円、長期借入金2,460,545千円、繰延税金負債827,621千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は4,029,239千円となりました。

主要な内容は、資本金1,250,000千円、資本剰余金1,939,189千円、利益剰余金840,059千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、3,498,774千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は554,191千円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計165,662千円、未払金の増加232,580千円、前受金の増加678,999千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は2,233,722千円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得2,113,723千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は5,010,061千円となりました。主な要因は、短期借入金の増加2,618,934千円、株式の発行による収入2,300,000千円などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年3月18日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成28年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,550,281
未収入金	637,480
前払費用	554,610
繰延税金資産	3,762
その他	33,881
流動資産合計	4,780,016
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	4,584,638
建設仮勘定	1,985,231
その他(純額)	257,177
有形固定資産合計	6,827,046
無形固定資産	
のれん	3,147
その他	15,220
無形固定資産合計	18,367
投資その他の資産	
長期前払費用	593,131
敷金及び保証金	1,035,855
建設協力金	277,172
その他	86,160
投資その他の資産合計	1,992,319
固定資産合計	8,837,732
資産合計	13,617,749
負債の部	
流動負債	
短期借入金	3,310,538
1年内返済予定の長期借入金	691,884
1年内償還予定の社債	89,980
未払金	712,259
未払法人税等	123,527
前受金	892,803
賞与引当金	210,565
その他	113,286
流動負債合計	6,144,845
固定負債	
社債	130,080
長期借入金	2,460,545
繰延税金負債	827,621
その他	25,415
固定負債合計	3,443,662
負債合計	9,588,508

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成28年3月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,250,000
資本剰余金	1,939,189
利益剰余金	840,059
自己株式	△8
株主資本合計	4,029,239
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	1
その他の包括利益累計額合計	1
純資産合計	4,029,240
負債純資産合計	13,617,749

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	4,557,372
売上原価	3,730,987
売上総利益	826,384
販売費及び一般管理費	621,252
営業利益	205,132
営業外収益	
受取利息	1,807
その他	2,380
営業外収益合計	4,187
営業外費用	
支払利息	32,920
開設準備費用	10,737
営業外費用合計	43,657
経常利益	165,662
税金等調整前四半期純利益	165,662
法人税、住民税及び事業税	89,852
法人税等調整額	△68,203
法人税等合計	21,649
四半期純利益	144,012
(内訳)	
親会社株主に帰属する四半期純利益	144,012
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1
その他の包括利益合計	1
四半期包括利益	144,013
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	144,012
非支配株主に係る四半期包括利益	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	165,662
減価償却費	159,827
のれん償却額	1,888
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,529
受取利息及び受取配当金	△1,807
支払利息	32,920
未収入金の増減額(△は増加)	△253,217
前払費用の増減額(△は増加)	△323,995
未払金の増減額(△は減少)	232,580
前受金の増減額(△は減少)	678,999
その他	△65,616
小計	618,711
利息及び配当金の受取額	122
利息の支払額	△32,158
法人税等の支払額	△32,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	554,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△35,952
定期預金の払戻による収入	151,518
有形固定資産の取得による支出	△2,113,723
無形固定資産の取得による支出	△7,978
敷金及び保証金の差入による支出	△156,933
敷金及び保証金の回収による収入	20,925
建設協力金の支払による支出	△50,000
建設協力金の回収による収入	8,403
その他	△49,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,233,722
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,618,934
長期借入れによる収入	320,000
長期借入金の返済による支出	△358,036
社債の償還による支出	△44,990
リース債務の返済による支出	△3,039
株式の発行による収入	2,300,000
自己株式の処分による収入	177,192
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,010,061
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,330,527
現金及び現金同等物の期首残高	168,246
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,498,774

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、平成28年3月17日に公募増資による払込みを受け、新株式1,250,000株の発行を行い、連結子会社が所有する親会社株式(自己株式)96,300株処分しております。また、平成28年3月18日付で株式会社東京証券取引所マザーズ市場に上場しました。この結果、第2四半期連結累計期間において資本金が1,150,000千円、資本剰余金が1,268,672千円増加し、自己株式が42,991千円減少し、資本金が1,250,000千円、資本剰余金が1,939,189千円、自己株式が8千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「子育て支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。